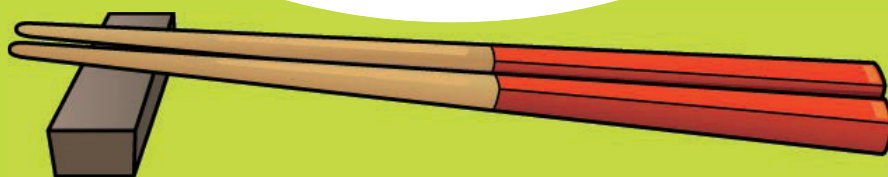




食べる



2017
MAY
Vol.9



口から食べることは

生命をはぐくむ根幹である

美味しく食べることは

今ここにある喜びを

噛みしめることであり

生きる希望である

口から食べて幸せに暮らせる

優しい社会になるよう

力を注ぎたい！

■ 理事長挨拶・会員情報

■ トピックス

■ 活動紹介 愛知・宮城

■ 活動報告 北海道

■ 第5回全国大会のお知らせ・今後の予定

■ 書籍紹介など

理事長挨拶

NPO 法人口から食べる幸せを守る会
理事長 小山 珠美



陽花の大輪が咲き誇る季節となりました。皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。当会は発足から5年目を迎えることができました。このような社会活動が継続できますのも、皆様方のご理解・ご高配の賜物と深く感謝申し上げます。

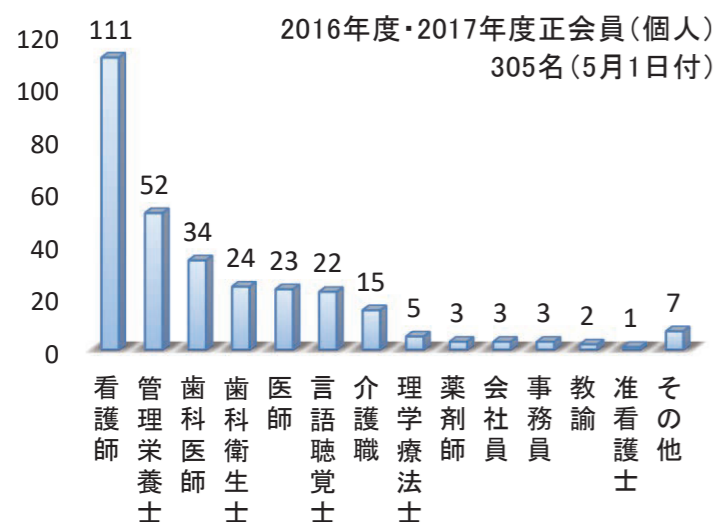
ここにきて、食べる支援の輪がようやく広がりつつあります。食べることは、生きる喜びであり、人々の幸福をもたらすということがサイエンスとしても実証され、社会全体で食べる支援への気運は高まっています。しかしながら、要介護高齢者への食支援の実情は様々で深刻です。事務局には、食べさせてもらえないというご家族からの相談のメールが未だ多く寄せられています。不十分な評価、不適切な食事環境、アプローチ不足など食べる支援への課題は山積しています。

つまりは、さらなる食支援スキルの進化、診療報酬の見直し、社会全体の意識変革などが必要ということに他なりません。そのようなことを鑑みて、当会では、研究、雑誌、書籍、マスコミなど多面的に食べる支援の必要性を発信してきました。今月末には、主婦の友社から単行本を出版します。これまでの医療・福祉関係者への知識や技術普及にとどまらず、一般社会全体への啓発が必要であり、ひとりひとりが自分のこととして声を上げることが大事だと考えてきたからです。加えて、ブラッシュアップされた「口から食べる幸せをサポートする包括的スキル」(医学書院)の第2版も第5回大会にあわせて刊行予定です。

第5回全国大会のスローガンは「食べる支援の進化を目指して！」です。皆様と一緒に、スキルを進化させ、人生の最期まで食べたい希望が叶う優しい高齢社会を目指していきましょう。多くの方々のご参加をお待ちしております。



会員情報



2016年度・2017年度正会員(団体)
9団体(5月1日付)

NPO 法人由利本荘にかほ市民が健康を守る会/秋田
ナチュラルスマイル西宮北口歯科/兵庫
紀州リハビリケア訪問看護ステーション/和歌山
医療法人 佐藤病院/秋田
医療法人 恵愛会 中村病院/大分
特別養護老人ホーム あさぎり/島根
医療法人緑会 小川病院/徳島
有限会社 ベース/青森
社会医療法人関愛会 佐賀関病院/大分

臨床研究参加のお願い

- KT バランスチャート (KTBC) 多施設共同研究 -

南相馬市立総合病院
社本 博



KT バランスチャート (KTBC) が世に出て、今年の10月で丸2年になります。この間、玉名地域保健医療センターの前田圭介、榎本淳子両氏のご尽力でKTBCの信頼性・妥当性が証明されました(J Am Geriatr Soc. 2016)。病院だけでなく病院外でも食支援のための多職種による包括的ツールとして普及しています。この6月には『KT バランスチャート®』と『KTBC®』の商標登録が完了します。

入院した高齢肺炎(とくに誤嚥性肺炎を疑う)症例の摂食嚥下機能のアウトカムには施設間差が存在します。いったん経口摂取困難と評価された人々が、再び経口摂取を獲得できないまま、胃瘻やPEGを造設され、食べたい願いが叶わないままになることも少なくありません。これまでは特定の医療職のみが摂食嚥下機能評価や診断、そして食支援を行っていることが多かったですが、今後は多職種で総合的に評価しながら、治療、ケア、リハビリテーションを包括的に多職種で展開する必要があります。そのためにKTBCは大変有用なツールだと考えています。

そこで私たちは次のミッションとしてKTBCの有用性を証明したいと考え、「KT (Kuchi-kara Taberu) index (日本語名KTBC: KT バランスチャート) 導入による摂食嚥下機能改善効果に関する多施設共同研究」を計画しました。KTBCを用いた多職種による包括的介入が、高齢者肺炎症例の摂食嚥下機能に及ぼす影響を検証するための多施設共同ランダム化試験です。

対象は65歳以上の高齢者肺炎症例です。肺炎の入院治療を行う医療機関の皆様にご参加いただく研究です。NSTやリハビリテーション回診など多職種によるチーム医療の現場でKTBCを用いて評価介入を行った場合と行わなかった場合を比較します。KTBC導入で入院1ヵ月後の摂食状況レベルが向上するかどうかを検証します。平成29年3月に研究を開始しました。現在10カ所のご施設に研究参加いただいています。成果を検証するために介入群と非介入群あわせて200例(1施設10症例程度)を目標にしています。

高齢化社会を迎える日本で、摂食嚥下機能療法や食支援への理解と普及のため、ぜひとも会員の皆様にも本研究にご参加いただきたいと考えています。研究の目的や参加施設基準、研究内容などの詳細は当会のホームページを参照いただきお申込みくださいますようお願い致します。

研究代表者 社本博 公立大学法人福島県立医科大学災害医療支援講座助教 南相馬市立総合病院 脳神経外科(兼務)

研究者 百崎 良(帝京大学医学部附属溝口病院リハビリテーション科准教授)
若林秀隆(横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科助教)
前田圭介(玉名地域保健医療センター摂食嚥下栄養療法科 NST チェアマン)
榎本淳子(社会福祉法人玉寿会 地域密着型特別養護老人ホームさくら苑 立願の森)
竹市美加(NPO 法人口から食べる幸せを守る会副理事長)
小山珠美(NPO 法人口から食べる幸せを守る会理事長)

在宅歯科医療専門歯科医院を開業して

あい訪問歯科クリニック
院長 一瀬 浩隆



東日本大震災のボランティアで宮城県気仙沼市に移住し5年。私は、東北で多くの仲間と出会い、かけがえのない経験をさせていただきました。その経験を生かしたいと、平成28年9月1日に「在宅歯科医療」を専門で行う歯科医院を愛知県豊橋市で開業しました。

在宅歯科医療専門で開業した歯科医院は愛知県でも3件しかありません。もともと歯科医院を開業するには、歯科診療所を構えて、ユニット（歯科治療用機器）、レントゲン機器など診療用機器を設置することが原則でした。しかし、高齢化に伴い、国が在宅医療を推進、平成28年4月より外来患者に対応する診療室や医療機器がなくても診療所の開設が認められるようになりました。開設にあたり、地域内に2か所以上の協力医療機関の確保や緊急時の対応や人員の配置などの要件に加え、他の医療機関から新規患者の紹介が5名以上ある、在宅歯科医療の経験が3年以上、抜髄、抜歯、義歯修理などを一定数行って国に報告する義務があり、満たせない場合は在宅歯科医療の算定ができなくなります。

豊橋市の人口は37万人と愛知県で5番目に大きく、東三河地区では一番大きい都市となります。高齢化率は24%、後期高齢者数4万人、要介護高齢者数は1万人とのデータがあり、訪問歯科のニーズは多く存在していると思われませんが、市内の歯科医院で訪問歯科診療を行なっているのは200院中、約30院に止まっています。通常の歯科医院はクリニックでの外来診療がメインのため、診療室でない場所で行う歯科治療は敬遠されがちです。さらに歯科医師が院長のみといったクリニックが多く、休診日や昼休みの時間といった限られた時間でしか訪問できないことも相まって、地域の医療介護関係者の間でも、歯科は訪問してくれるまで時間がかかる、治療に限られる、歯科治療はあきらめるといった考えがありました。そのため、開業当初、「訪問歯科専門」「外来とほぼ同じ治療が可能」「嚥下機能評価可能」ということを知ってもらおうと、居宅介護事業所や老人福祉施設などにチラシを持ってまわることからはじめました。実際に100箇所以上まわりましたが、それでも、開業した9月の患者数は4名。国に報告する診療ノルマだけでなく、歯科医院の存続自体も危ぶまれましたが、豊橋市歯科医師会の協力もあり、徐々に訪問歯科を専門で行うことが周知され、2017年3月には患者数は73名、多い時で月20名の新患がありました。年齢も2～101歳と幅広い年齢からの依頼があり、小児から高齢者、障害者に対応しています。

当院における、訪問歯科診療の依頼内容の多くは「義歯が合わない」「義歯が痛い」などで、全体の40%を占めます。続いて、う蝕、歯周病が多く、口腔ケアや摂食嚥下の依頼も14%あります。開業時、歯科医師会の先生から、摂食嚥下の依頼はほとんどないと話を聞いていました。地域で摂食嚥下に力を入れている施設は、「気の里」の田中靖代先生がいらっしゃいますが、訪問で摂食嚥下に取り組んでいる医院、事業所は皆無で、訪問STもいません。そのため、在宅には多くの潜在的ニーズがあると思われれます。実際に、当院の介入で「食事量が大幅に改善」「食事形態がアップし自力摂取可能」「経口摂取開始」につながった例もすでにあります。

まだ開業して間もない歯科医院ですが、義歯や差し歯による咬合機能改善させ、口腔内の環境を整えることはもちろん、「口から食べたい」と願う、患者や家族の願いを叶えられる歯科医院となるよう努力していきます。

当院でのKTバランスチャート®の活用

気仙沼市立本吉病院
齊藤 稔哲



当院は東日本大震災で甚大な被害を受け、一時医療崩壊の危機に面しましたが、全国からの多くの支援を受け、地域の小規模多機能病院として再生しました。私達は小規模多機能病院「院内外の多職種との連携の下、自宅や施設という生活の場で暮らし続けることを実現するために、外来・訪問・入院診療を組み合わせで活動する病院」と定義しています。

高齢者にとって「生活の場で暮らし続けること」≡「口から食べ続けること」であることを小山先生や一瀬先生を始めとするKTSMの皆さんから学び、患者さんの摂食嚥下機能改善に努めています。活動の中で、摂食機能改善には、口腔内環境や嚥下機能だけでなく、意欲や全身活動の状況、栄養状態など総合的に評価する必要がありますこと、それを実践するツールとしてKTバランスチャートがあることを学びました。今年初め、チャートを病院全てのスタッフが活用できるよう工夫しました。

- 1) KTSMホームページから入力用ファイルをダウンロード
- 2) 各項目の詳細を暗記していなくても入力できるように、各項目の評価詳細を併記するように入力用ファイルを改変（当院看護師が頑張って作りました）
- 3) 全ての電子カルテ端末でそのファイルを共有
- 4) 評価者がファイルに入力し、レーダーチャートを作成した後、コピー&ペーストで電子カルテに貼り付け以上のような方法で全職員がレーダーチャートを容易に入力することができるようになりました。

レーダーチャートを活用することで、患者さんの強みと弱みが見える化されました。また、チャート作成を繰り返すことで、改善が見込める領域と難しい領域の判断がしやすくなり、患者さんの支援も効果的に実施できるようになりました。一例として廃用症候群で寝たきり状態の高齢者を提示します。褥瘡と誤嚥性肺炎を来した入院されました。摂食嚥下訓練前後のKTバランスチャートの評価で、食べる意欲、覚醒状態、嚥下機能は改善をみたものの、体幹、四肢の保持は依然として困難であったため、経口摂取継続のためにはポジショニングへの介入をより適切に行う必要があると判断できました。在宅で介護に関わる方にもこの点を中心にお伝えし、退院後も状態が安定して維持できました。さらに、スタッフも患者さんの訓練効果が視覚的にわかるようになり、訓練に対するモチベーションが向上しました。

KTバランスチャートの活用は始まったばかりなので、今後継続して取り組み、これからますます口から食べることをあきらめない地域になれるように努めたいと思います。



KTバランスチャートの情報を共有

実技セミナーで学習した
フードテストの様子



第3回食事介助スキルアップセミナー in はこだて研修会報告



北海道摂食嚥下前線報告

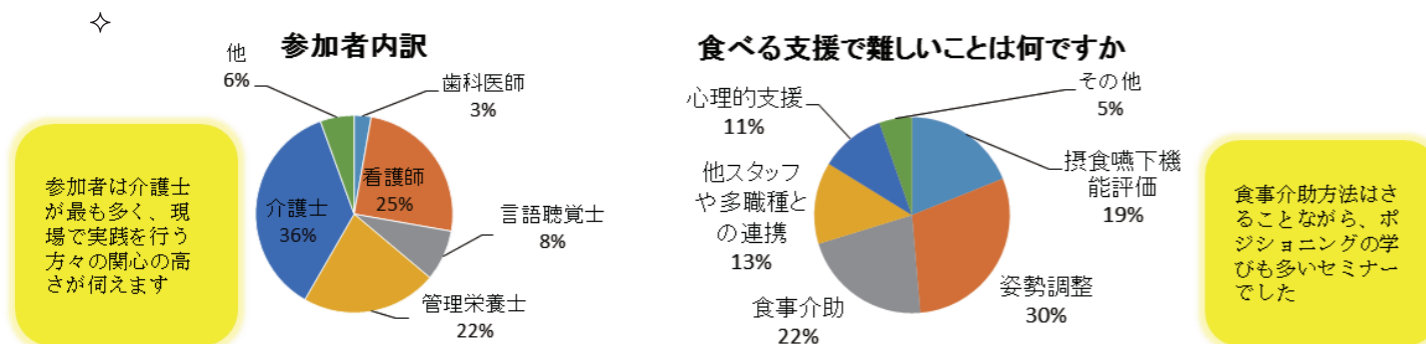


作成者：砂山 明子
(都立駒込病院 看護師)

- 日程 2017年4月29日
- 会場 函館五稜郭病院

北海道に春の訪れを告げる桜前線が到達した頃、「第3回食事介助スキルアップセミナーinはこだて(第47回KTSM実技セミナー)」が開催されました。函館にとどまらず、北海道各所、多職種の方々にご参加いただき、盛会のうちに終了することができました。

- 参加者 第1部(講演)160名/第2部(実技セミナー) 39名
- アドバイザー 5名、スタッフ 13名



参加者の方の感想(一部抜粋)

- 食事介助の方法や用具で全く違うことがわかり、今までの間違いを改めたいと思いました
- 本等でみているのと実際行うのではこんなにも違うものかと思うと同時にとても勉強になりました
- とても充実した内容でためになりました。やれることはたくさんあると感じました。KTチャートを是非導入したいです
- 今までスクリーニングやポジショニングをやっていましたが、患者さんの視点になるという重要性がわかりました
- 実際に患者役を体験し、ポジショニングの大切さ、背抜きや適切な姿勢の大切さを学んだ。もっと実践スキルを学び医療の専門家として口から食べる支援をしていきたい



企画・運営側からの感想

函館での開催は今回で3回目となりますが、第1部に160名、第2部も定員いっぱいの39名が参加された状況から、回を重ねても食事介助に関する関心と需要の高さを感じることができました。今後は、地元有志で勉強会を立ち上げる等、継続した取り組みをしていきたいと思っております

第5回全国大会開催のお知らせ

2017年7月1日(土)横浜市教育会館にて第5回全国大会を開催いたします。本大会のスローガンは“食べる支援の進化を目指して!”です。ようやく、多くの方々が口から食べる支援の重要性を理解し、関係職種との連携強化や包括的支援スキルが広がりが増すようになりました。皆様と一緒に、知恵と力を結集し、食べ続けることが当たり前の優しい長寿社会への進化を目指していきましょう。多くの方々のご参加をお待ちしております。

- 【会期】2017年7月1日(土)
- 【時間】13:00~18:30(11:30より受付開始)
- 【会場】横浜市教育会館
- 【定員】450名
- 【料金】2017年度会員5,000円/非会員7,000円
- 【申込】当ホームページの大会特設ページからお申込ください



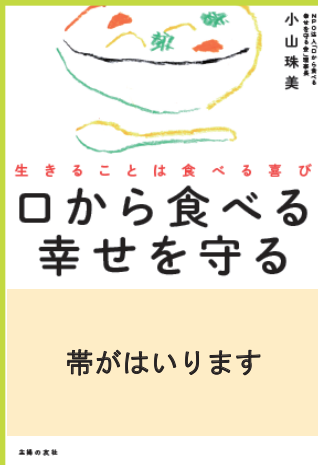
***小さなお子様がいる方も安心してご参加できるよう保育ルームを設けております!**
詳細は大会特設ページをご覧ください。

今後の実技セミナー

日程や内容に変更がある場合がございます
詳細はホームページをご確認ください

回数	開催日	募集	開催地域	コース	募集人数
48回	5月28日(日)	一般募集	東京	基礎&スキルアップ	募集終了
49回	6月10・11(土日)	一般募集	東京	アドバンスコース	20
50回	7月16日(日)	地域限定	沖縄市	基礎&スキルアップ	30
51回	8月6日(日)	一般募集	東京	KTBCの理解と展開	30
52回	8月20日(日)	地域優先・一般募集	宮崎市	基礎&スキルアップ	60
53回	9月3日(日)	地域限定	新潟県上越市	基礎&スキルアップ	30
54回	9月23日(土)	地域優先・一般募集	秋田	基礎&スキルアップ	30
55回	10月7・8(土日)	一般募集	東京	アドバンスコース	20
56回	11月12日(日)	地域限定	宮城県栗原市	基礎&スキルアップ	39
57回	11月19日(日)	地域優先・一般募集	大分市	基礎&スキルアップ	60
58回	12月2日(土)	一般募集	神戸市	基礎&スキルアップ	40
59回	2018年1月14日(日)	一般募集	東京	基礎&スキルアップ	30
60回	1月27日(土)	地域優先・一般募集	愛知県豊橋市	基礎&スキルアップ	40
61回	3月3日(土)	地域優先・一般募集	熊本市	基礎&スキルアップ	70

書籍が出版されます！



- ◇ 医療福祉従事者・看護学生
患者さんとご家族に贈る魂の一冊
- ◇ 6月28日発売！
- ◇ 小山 珠美 著
- ◇ 四六判 192P 定価 1,500 円＋税
- ◇ 主婦の友社刊 ISBN978-4-07-423539-1
- ◇ 全国の書店またはネット書店でお買い求めください
- ◇ 第5回大会ご参加の皆様には著者割引特別価格で当日販売致します！



- ◇ 13項目がさらにブラッシュアップ
- ◇ KT バランスチャート®を用いた事例総入れ替え
- ◇ 高次能機能障害&認知症へのアプローチ追加
- ◇ 7月1日発売！
- ◇ 小山 珠美 編著
- ◇ 医学書院
- ◇ 全国の書店またはネット書店でお買い求めください
- ◇ 第5回大会ご参加の皆様にはいち早く当日販売致します！
- ◇ ※こちらは仮の表紙になります



商標登録のお知らせ

このたび、KTバランスチャート®と
KTBC®を商標登録いたしました！

2017 年度会員募集

NPO 法人口から食べる幸せを守る会では
正会員・賛助会員を募集しております。
2017 年度の会員申込みを開始いたしましたので
会員の皆様には引き続きご支援
くださいますようお願い申し上げます。

ホームページ：<http://ktsm.jimdo.com/>

2017
MAY
Vol.9

発行日：2017年5月28日

発行責任者：NPO 法人口から食べる幸せを守る会®

※本会報誌の無断コピーや使用については著作権の関係上、固くお断りいたします。

Copyright© 2013 口から食べる幸せを守る会®. All Rights Reserved.